

シラチャ校だより

泰日協会学校
シラチャ校

2022.3.1



学校評価アンケートから～新年度に向けて～

泰日協会学校シラチャ校
校長 酒井憲一

本年度も在宅学習からスタートしましたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、無事に卒業式及び修了式を迎える運びとなりました。あらためて深く感謝申し上げます。

さて、1月の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。主な項目について以下のとおり総括するとともに、新年度に向けて改善できることをすすめていきますので、よろしくお願いします。

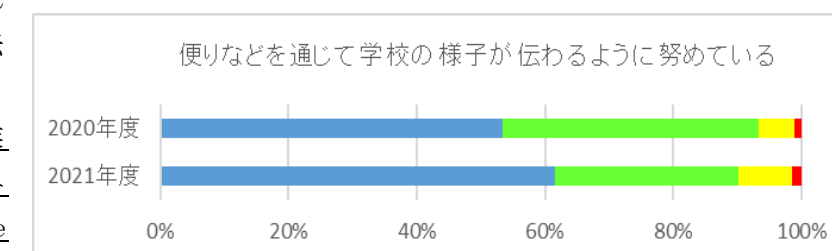
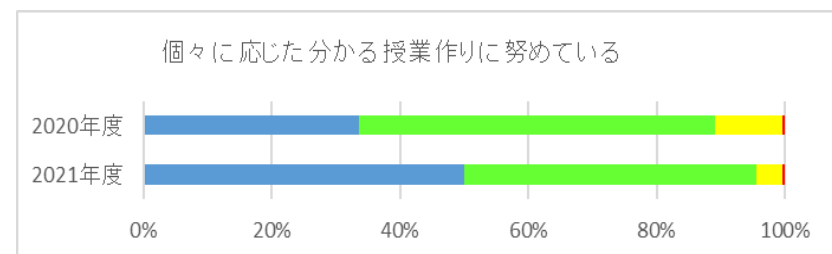
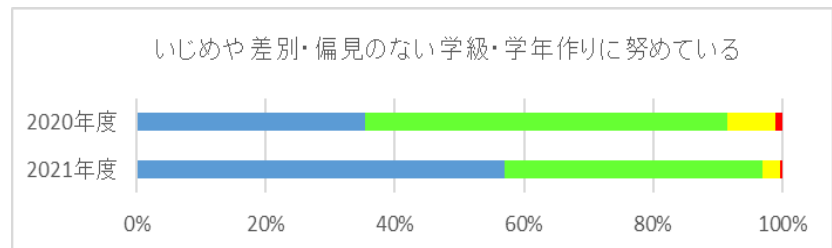
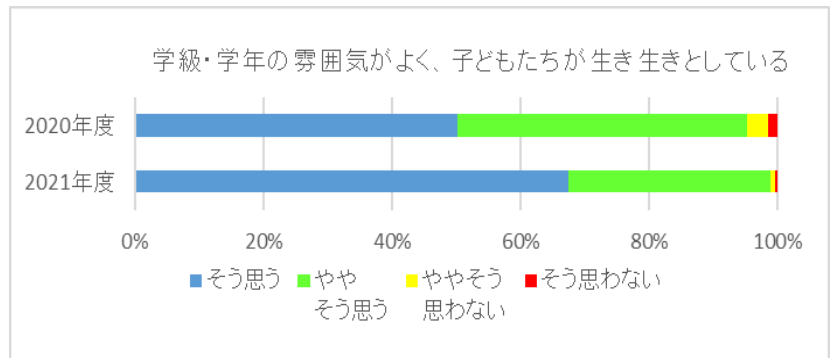
アンケート項目について

(1) 評価が高かった項目

右のグラフにおける「学級・学年の雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしている」「いじめや差別・偏見のない学級・学年作りに努めている」「個々に応じた分かる授業作りに努めている」の3項目については、特に評価が高かったものです。在宅学習期間が長かったにもかかわらず、学級づくりに工夫して取り組んだ教員にとっては励みになります。新年度は、特に学力向上や授業改善に力を入れて改善をすすめていきます。

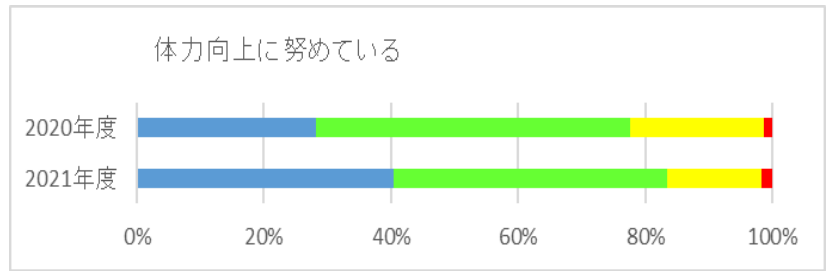
(2) 評価が下がった項目

「便りなどを通じて学校の様子が伝わるように努めている」の項目については、在宅学習期間が長かったり、入校しての参観ができなかったり、目の前でお子さんの様子を見られなかったため、もっと学校の様子を伝える手段等を工夫する必要があると考えます。新年度は、オンライン授業参観を増やすなど、本年度の取り組みを改善していきます。併せて、Google classroomを見やすく整理することも取り組んでいきます。

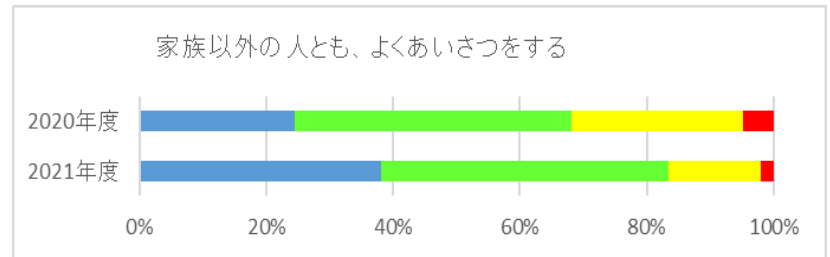


(3) 評価は上がったが、他の項目より評価が低い項目

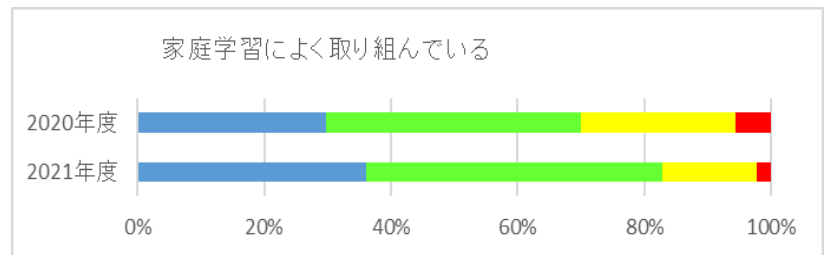
体力向上は本校における課題であります。評価は上がりましたが、教員の肯定的評価は 58.8%であり、学校としても改善の必要性を感じています。新年度は、感染防止の規制が緩和されれば30分の昼休みを週1回設定したり、体育の授業の工夫改善をしたりして、体力向上に努めていきます。



あいさつについては、マスクをしての生活ではありますが、目と目を合わせたり、会釈をしたりするなど、一人一人が工夫して取り組みました。新年度は、下校時のあいさつや、授業中におけるあいさつなど「あいさつの幅」を広げて取り組んでいきます。



家庭学習については、在宅学習に取り組んでいた姿勢が家庭学習に生かされたと考えます。家庭学習は、基礎学力の定着を図るうえで大切な取り組みなので、宿題については学年に応じた適切な量や質をふまえて取り組んでいきます。



自由意見について

ご意見をしっかりと受けとめ、改善できるところは前向きに検討してまいります。その中で、以下のご意見に対する改善点について説明します。

「新型コロナウイルスに感染した教員や児童生徒の情報をもう少し詳細に伝えてほしかった。情報によっては、自分の子どもの登校を控えるなどの措置ができたと思うし、不安があった。」

感染者が特定されないように配慮したことがかえって不安をあおることにつながり、今後の対応を見直す必要があります。そこで、感染者のご家庭の了解を得たうえで、Google classroom のストリームで学年・学級など情報を速やかに提供します。また現在も行っていきますが、感染が心配でお子さんの登校を見合わせたり、濃厚接触者として自宅待機したりする場合は、欠席ではなく出席停止のうえ授業の様子をオンラインで配信し、自宅でも参加できるようにします。これらの対応については、新年度の「通学の手引き」に記載しますので、ご確認ください。

新年度も保護者の皆様の声を真摯に受けとめ、よりよい学校づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、本年度をもって卒業・退学・本帰国される児童生徒の皆さんの新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

コロナ禍で見たシラチャ校の良さ

ディレクター ニオン アガニットプロム

コロナ禍の中、まもなく終わろうとしているこの2021年度は、本当にいろいろなことが起こった年度でした。昨年4月、2021年度の始まろうとする時は、タイで新型コロナウイルス感染第3波が発生し拡大しているときでした。そのため、2021年度は最初から児童生徒の登校開始ができない状況となりました。そこで、学校は4月からオンライン授業を行わざるを得ませんでした。

この時期、私は教育省および保健省の指示をフォローしながら、児童生徒が早めに登校することができるようにと願いつつ事態の推移を見守っていました。しかし、感染拡大状況は好転せず、5月・6月になっても治まりません。

この頃、先生達はChromebookを通して、指導の仕方を工夫し、それを色んな形で流してくださいました。また、子ども達もしっかり授業を受け、保護者の皆様も子供のオンライン授業をサポートしてくださいました。5月・6月はそのように児童生徒の登校がないオンライン授業が続いた日々でした。

7月に入りまして、コロナ感染状況も変化し、政府の方針も学校は休校を基本とするが、感染対策をしっかり講じた場合、申請して許可を得ることにより児童生徒の登校も可能とするという様になりました。そこで私は、児童生徒登校開始の許可申請をチョンブリー教育委員会、チョンブリー疾病委員会に提出いたしました。しかし、その最初の申請では国の方針はあるもののチョンブリー県ではまだ早いのではないかとということで、県からは許可をいただけませんでした。しかし、オンライン授業が長くなっているシラチャ校の事情を考えると諦める訳にはいかず、タイの学校と違うシラチャ校の状況を説明しつつ、なんとかならないものかと再陳情を行いました。その際、疾病委員会から、本格的登校ではなく試験登校ならば認められるだろうとアドバイスをいただき、それを元に書類を整備し再度の申請をいたしました。その結果、試験登校ということで登校日は9日間とする許可をチョンブリー保健局からいただきました。

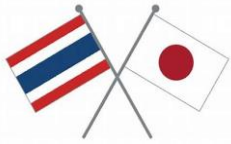
しかし、ようやくその許可をいただき、「登校が始まります」という矢先、今度はデルタ株ということで、また感染者数が急速に増加し、これまで児童生徒の登校が認められていたインター校なども休校になり、シラチャ校も9日間の試験登校は6日間に、各学年3日ずつは2日ずつの登校のみ許可されるという事態となりました。

条件は狭められました。たとえ6日間でも、登校してともに学ぶということは、児童生徒・教職員にとっては貴重な時間になると私は思いました。その時の状況を思い出してみると、皆が花園の中に入るような明るい気持ちであり、児童生徒は笑顔で校舎に入っていたのではないかと思います。先生達も笑顔で子供を出迎えていました。この時、子供達と先生達は教室での学習活動を通して、お互いがパワーを与え合っていると私は感じていました。

その後、夏休みを経て2学期となりましたが、チョンブリー県の感染者は減少することなく推移し、学校には子供たちが登校できないまま、オンライン授業が続いていました。しかし、9月中旬になると政府から新しく『Sandbox Safety Zone in School』という対策が出される運びとなりました。この感染対策の下、シラチャ校も早速、登校再開の申請を行い、許可を得て、10月27日以降は登校再開となりました。この時、久しく使っていない寂しかった教室は、先生達が準備していた掲示物等に飾られて華やかさが復活し、児童生徒の笑顔があふれたいつものイキイキさが戻ってきた教室となっていました。4月からここまで皆が待ち望んだ対面授業の復活でした。

それ以降、今日までは、いろいろな制限はあるものの、児童生徒全員の登校は続けることができます。現在は、オミクロン株に対する政府の方針がコロナウイルスとの共存を図る方向へ変化し、学校に対する休校要請等は出されなくなりました。しかし、校内ではまだまだいろいろな感染防止対策は続いています。

振り返りますと、今年度は本当にいろいろなことがありました。しかし、どんな状況であっても私達は乗り越えられました。年度の終わりが近づいた今、私は児童生徒・保護者・教職員の「一体感」を改めて強く感じています。これからも今までと同様、コロナに負けないように、皆様のご理解ご協力を頂きながら、学校の仕事を進めていきたいと思っております。



広がった世界観



10 数年前、日本に韓流ブームが起こった頃から、私は、韓流ドラマや k-pop の大ファンになり、韓国語にも興味をもち始めました。だんだんに本場で暮らしてみたいと思うようになり、韓国に短期留学をしたり韓国人の友達の家遊びに行ったりしました。

1 年前、タイで勤務することが決まり、早速タイ語のテキストと CD を買ってはみたものの、私が今まで触れてきた言語とは発音や文字が大きく違って、驚きました。

今では、店の方と話をしたり、トゥクトゥクの運転手の方に道案内ができるようになったりと、ほんの少しずつですが、タイの方々と意思疎通ができるようになりました。タイの方々の優しさに触れ、タイ語独特の発音に慣れてきて、タイでの生活が楽しいものになり、韓流一筋だった私の世界が広がりました。

シラチャ校をはじめ、日本人学校の子どもたちは、様々な国と関わりながら暮らしています。子どものころから海外に目を向け、様々な言語や文化に親しめることは、貴重な経験です。将来、世界のどの国でもきっと存分に活躍できると思います。そうなることを私は大いに期待しています。



【文責：三浦 弘子】

続けてみよう！

わたしは、小さい頃からバレエを習っており、毎日レッスンに通いバレエ漬けの生活でした。中学生になると、同級生は学業の時間を確保するために、テスト間近にはレッスンを休む人もいました。そんな期間は、バレエの先生に自分のことを見てもらえるチャンスが増えるので、私は必ずレッスンに通っていました。でもそのために、授業後の 5 分間で 1 時間に学んだことを振り返ったり、その日のうちに課題を少しずつ行ったりしました。やりたいことがあったから、時間を生み出そうと、効率の良い学習方法を自然と考えていたのだと思います。また、その積み重ねが定期考査や受験にはよかったと思います。どんな日でも変わらず同じ生活を送ってきたことで、テストは、いつも通り落ち着いて受けることができました。またどんなときでもバレエの練習を続けてきたことが自信となって、なぜか入試の日も「大丈夫だ」という気持ちで受けることができました。正直、バレエのほうはなかなか上手になりませでしたが、継続し続けた事実が、自分の自信につながったのだと思います。



継続することは好きなことではなくてもいいと思います。高校の先輩で、「風呂掃除を毎日すること」を決めて続けた人がいました。先輩は、疲れた日も忙しい日も風呂掃除を続けられたことが受験のときの自信につながり、これまでの成果を発揮することができたそうです。何事も自信になるまで続けることは大変ですが、先を見るのではなく、一日一日を積み重ねていくことが、いつか大きな自信になることを信じて、これからも頑張っていきます。

【文責：岸 美乃莉】

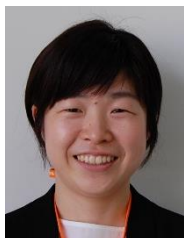
帰任教職員のあいさつ

3月で帰任及び退職する職員です。先生方それぞれが、持ち前の力を発揮し、シラチャ校の教育活動にご尽力いただきました。本当にありがとうございました。



向山 昇伍 先生

2019年度、2020年度は2年生担任として、今年度は教務主任として勤務させていただきました。子どもたちをはじめとするシラチャの皆様のおかげで、毎日が楽しく充実した3年間を過ごすことができました。自分にとって、シラチャでの出会いは『最高の財産』です。そして、必ずまた会えると信じています。世界のどこかで大きく成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています！ありがとうございました。



田中 真央 先生

「シラチャでよかった！」この一言に尽きます。「シラチャって、どこだ？」から始まった赴任準備。あっという間に3年が経ち、ビー〇に氷を入れて飲むのが当たり前になっていました。シラチャで出会ったたくさんの方々のおかげで、充実した日々を過ごすことができました。世界は広いようで狭い。また世界のどこかで、みなさんに会えることを楽しみにしています。3年間お世話になりました。 コックブン マーク マーク ナカ。



渡邊 俊夫 先生

日本各地から集まった先生と子どもたち、タイのスタッフと、まさに一期一会（いちごいちえ）の日々でした。「マスク」と「アルコール」と「ディスタンス」の生活も、きっと何か新しいものを生み出すのではないのでしょうか？子どもたちは、タイと日本の良いところ知って、これからの生活に活かしていくことができる人になるのでしょうか。楽しみにしています。ありがとうございました。



都丸 弘子 先生

世界的パンデミックを子どもたち、そして保護者の皆様と一緒に戦い、乗り越えてきた毎日でした。私が赴任して最初に受け持った3年3組25人の学級で今現在、在籍しているのは3人。それだけ出会いと別れを繰り返してきました。シラチャで出会ったお一人お一人の幸せをこれからも祈っていきます。そして、子どもたちが将来、日本とタイを結ぶ素敵なお大人に成長していけることを願っています。



三村 良平 先生

様々な行動制限・学習形態での制限がある学校生活の中で、笑顔絶やさずことなく工夫しながら過ごしている子どもたちの姿に幾度も励まされました。「自分たちの活動を自分たちの手で仲間と共に作っていく」、そんな経験を積み重ねられる機会を子どもたちに提供したいと、2年前に赴任しました。この度不本意ながら、契約終了し、この学校を去ることになりますが、現3年生、そして4年生の児童たちとの出会いに感謝申し上げます。ありがとうございました。



望月 亮佑 先生

シラチャ校に来て、シラチャ校の子どもたちや保護者の皆様と出会って、教師という仕事がかっこよく好きになりました。日に日に成長し続ける子どもたちに負けないように、日本でも自分自身を成長させていきたいと思えます。関わらせていただいたみなさんと、またどこかで会える日を楽しみにしています。3年間、ありがとうございました。

帰任教職員のあいさつ



児玉 美希 先生

音楽専科として、シラチャ校の大勢の子供たちと関わらせていただきました。3年目は、5年生の担任も受け持たせていただきました。明るく前向きで、活発な子供たちの姿を見て、「私ももっと頑張らなくては！」と勇気をもらうばかりでした。日本から遠く離れたタイで皆さんと出会い、かけがえのない時間を過ごすことができ本当に幸せでした。3年間、ありがとうございました。



肥後 貴史 先生

「子どもたちがいてこそこの学校だ」ということを改めて感じたシラチャ校での生活でした。通常登校開始後、校内に響き渡る子どもたちの声。授業中の真剣な表情。休み時間に喜んで走りまわる姿。まるで学校に命が吹きこまれたようでした。私の教師人生において、「自分はこの仕事大好きなんだ」と再確認することができた貴重な時間となりました。シラチャ校の子どもたち・保護者の皆様、幸せな時間を本当にありがとうございました。子どもたちの輝かしい未来を願っています。



尾崎 友 先生

ドキドキして赴任した3年前、シラチャの町並みに“東南アジア”を強く感じたことを今でも鮮明に覚えています。それが今では出店のおじさんに気軽にあいさつするほど、地元感に溢れた場所になりました。大きな声で遠くにいるトゥクトゥクだって自分で呼べます。こんな地元民になれたこの3年間での出来事は、すべてが自分の学びとなりました。かけがえのない時間を共有させていただいたたくさんの方々とシラチャ校のご多幸とご発展を心から願っています。本当にありがとうございました。



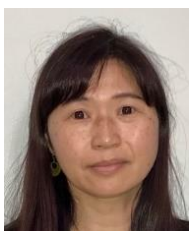
白田 博樹 先生

4年間のシラチャ日本人学校生活。半分はコロナ禍の中で、今年は特に毎日の当たり前がとても大切な時間でした。27人学級で転出生13人！「一期一笑」コロナ禍での修学旅行後にやっと掲示ができた8年学級目標ですが、今後の私の座右の銘にしていきます。それぞれの場所で自分らしく活躍できるようずっと応援しています。また世界のどこかで笑顔で会いましょう！タイでのかけがえのない時間をありがとうございました。



北井 達朗 先生

シラチャ校での三年間の勤務を振り返ってみると、本当に不思議なご縁を感じる3年間でした。皆さんと一緒に学校生活を送れたことは決して忘れることはないと思います。本当にありがとうございました。



岡田 明子 先生

あっという間の3年間。3月にタイを、そしてシラチャ日本人学校を離れることになりました。タイの人たちの笑顔、タイのご飯、文化、行事、自然、気候、そして何よりシラチャ日本人学校のかわいい子どもたちと優しい保護者の皆様。楽しい、大好きに囲まれて3年間を過ごすことができました。感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日 (火)	6年生を送る会 ※全校5時間授業	14:15 P1-6 M1-3 ★
2日 (水)	購買(注文票配布日)	14:15 P1 15:25 P2-6 M1-3
3日 (木)	中卒業式予行 購買(注文票提出日)	14:15 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
4日 (金)	小卒業式予行	14:15 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
5日 (土)		
6日 (日)		
7日 (月)		14:15 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
8日 (火)	卒業式準備 ※6・9年は5時間下校	14:15 P1.6 M3 15:25 P2-5 M1-2 ★
9日 (水)	卒業式(卒業生のみ登校) ※在校生は休み 全校5時間授業	None
10日 (木)		14:15 P1-5 M1-2 ★
11日 (金)	修了式 離任式【学級だより配信】	11:30 P1-5 M1-2 ★
12日 (土)		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。
P: 小学部 (例えば P1-2 は小1, 2年生) M: 中学部を表しています。

離任式

昨今の新型コロナウイルス感染症の状況から、保護者及び卒業生(6・9年生)が来校して離任式に参加することはできません。ご承知おください。

退学家庭の書類について

今年度をもって本校を退学されるご家庭につきましては、**11日(木)の11時40分から、書類をお渡しいたします。**人数の関係上、密を避けるため配付場所は体育館といたします。当日、ゲートにて案内しますので、ご協力をお願いいたします。入校される場合は、ワクチン接種の照明か陰性のATK検査キットをゲートにてご提示ください。**来校せず子どもを通じたの書類渡しを希望される方は、担任までご連絡ください。**

※ご不明な点は学校までご連絡ください。

着任式・始業式

4月22日(金)は着任式・始業式です。児童生徒が登校したら、新しい学年の教室の前に学級名簿が掲示してありますので、自分の名前のある教室に入ってください。

- 今年度同様、**ATK検査キットと健康告知書を持参し、7時40分以降に登校**してください。
- 式がありますので、小学部のお子さんは襟付き袖有りの服装にご協力ください。
- 3時間授業ですので、お弁当は必要ありません。
- 下校時刻は、全校11時30分です。

入学式

4月23日(土)は入学式です。入学式の実施方法につきましては、今後のタイ国内の情勢やタイ教育省の指示に基づき、検討中です。詳細が決まり次第、新1年生のいるご家庭にご連絡いたします。なお、**2年生以上はお休みとなります。**

Chromebook の取り扱い

2021年4月より児童生徒1人1台の貸与を開始して1年が経過しようとしています。今年度は、故意による破損や紛失の場合に限って修理費用をご請求していましたが、今年度の状況を踏まえ、来年度以降は**過失(誤って落下してしまい、液晶画面が破損したなど)の場合も修理費用を請求対象に加えることに変更**させていただきます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

春季休業中のご連絡

緊急連絡は、Google 連絡帳ではなく、直接お電話でご連絡ください。何か緊急で学校からお知らせする必要がある場合はSMS等でご連絡いたします。

038-339-971 (8:00-16:00)

※ただし、土曜日曜やチャックリーデー、ソングラン期間中、学校は閉まっていますのでご注意ください。